

【OIE情報】台湾における高病原性鳥インフルエンザ（H5N2）の発生について

台湾における高病原性鳥インフルエンザ（H5N2）の発生について、OIEへ報告がありましたのでお知らせします。本報告は2015年 1 月12日付けの雲林県及び屏東県における発生報告の続報（続報3）です。

【出典】

OIEウェブサイト（2015年 1 月16日付け）

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=16965

（OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。）

【概要】

- ・発生数：17件（続報3）
- ・血清型：H5N2（高病原性）※
- ・発生日：2015年 1 月11日～ 1 月12日
- ・臨床徴候あり
- ・OIEへの報告日：2015年 1 月16日

（※動物衛生課注：過去に台湾で検出された株と異なるウイルス）

【発生状況】

1 月11日：雲林県（うんりんけん）口湖郷（こうこきょう）の農場

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
種がちょう	2, 200	897	897	1, 303	

1 月11日：嘉義県（かぎけん）布袋鎮（ほていちん）の農場

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
がちょう	3, 600	1, 825	1, 825	1, 775	0

1 月12日：屏東県（へいとうけん）万丹郷（ばんたんきょう）の農場

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
がちょう	11, 810	6, 933	6, 933	4, 877	0

1 月12日：雲林県（うんりんけん）四湖郷（しこきょう）の農場

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
がちょう	5, 190	4, 779	4, 779	411	0

1月12日：雲林県（うんりんけん）四湖郷（しこきょう）の農場

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
がちょう	2,428	2,063	2,063	365	0

1月12日：雲林県（うんりんけん）四湖郷（しこきょう）の農場

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
種がちょう	1,000	550	550		

1月12日：雲林県（うんりんけん）四湖郷（しこきょう）の農場

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
種がちょう	1,300	1,105	1,105	195	0

1月12日：雲林県（うんりんけん）四湖郷（しこきょう）の農場

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
種がちょう	1,560	674	674	886	0

1月12日：雲林県（うんりんけん）四湖郷（しこきょう）の農場

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
がちょう	2,400	2,204	2,204	196	0

1月12日：雲林県（うんりんけん）四湖郷（しこきょう）の農場

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
がちょう	2,200	2,104	2,104	96	0

1月12日：雲林県（うんりんけん）口湖郷（こうきょう）の農場

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
がちょう	6,500	6,100	6,100		

1月12日：雲林県（うんりんけん）口湖郷（こうきょう）の農場

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
がちょう	6,200	1,800	1,800		

1月12日：雲林県（うんりんけん）麦寮郷（ばくりょうきょう）の農場

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
がちょう	6,270	350	350		

1月12日：雲林県（うんりんけん）東勢郷（とうせいきょう）の農場

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
がちょう	3,600	300	300		

1月12日：桃園市（とうえんし）平鎮区（へいちんく）の農場

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
種がちょう	2,100	200	200	1,900	0

1月12日：嘉義県（かぎけん）布袋鎮（ほていちん）の農場

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
がちょう	2,795	1,874	1,874	921	0

1月12日：彰化県（しょうかけん）芳苑郷（ほうえんきょう）の農場

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
採卵あひる	13,000	200	200	12,800	0

【疫学情報】

- ・ 感染源：不明又は調査中
- ・ 異常な死亡率が桃園市、彰化県、雲林県、嘉義県及び屏東県の17戸の水きん農家で確認
- ・ 診断のために検体を家畜衛生試験所へ送付
- ・ 家畜衛生試験所においてH5N2亜型の高病原性鳥インフルエンザであると確認
- ・ これらの農場は移動制限下に置かれている
- ・ 感染農場の全てのがちょうは淘汰される予定
- ・ 正確な淘汰数は淘汰が終了した後に続報で報告する予定
- ・ 淘汰後に洗浄及び消毒が行われる予定
- ・ 感染農場の半径3 km以内にある家きん農場は、3 か月間強化サーベイランス下に置かれる

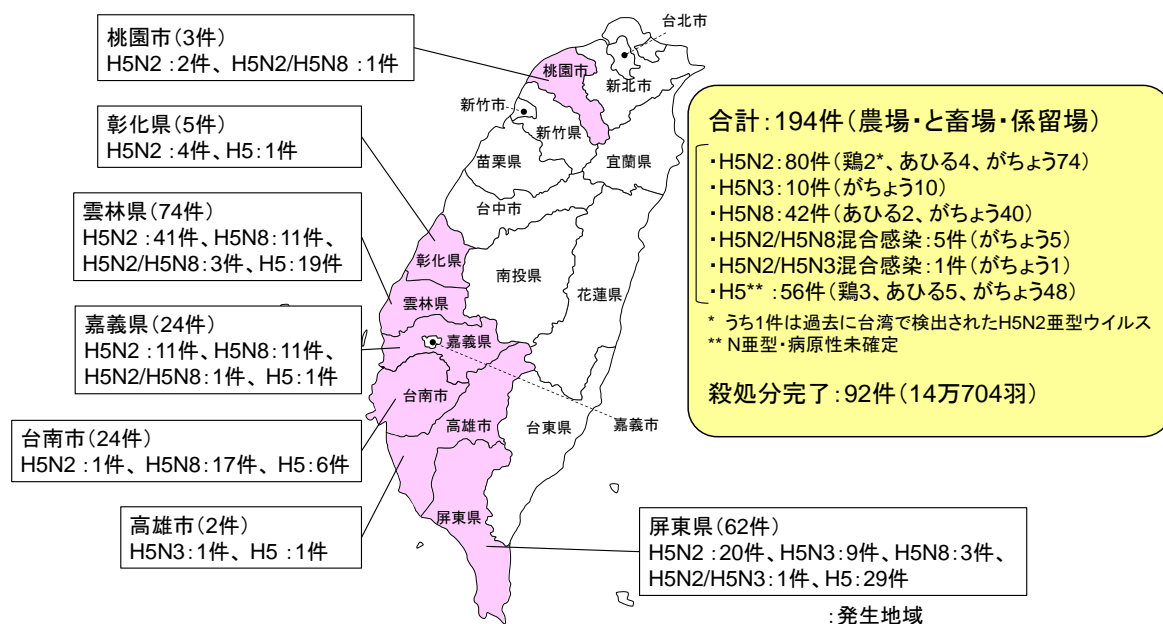
【対応】

- | | |
|--------------|---------------|
| ・ 淘汰 | ・ ゾーニング |
| ・ 隔離 | ・ 施設等の消毒 |
| ・ 国内における移動制限 | ・ ワクチン接種禁止 |
| ・ スクリーニング | ・ 患畜を治療対象としない |

【診断】

- ・ 診断場所：家畜衛生試験所（国立研究所）
- ・ 診断法：RT-PCR：陽性（2015年1月13日）
遺伝子配列確認：陽性（2015年1月15日）

参考 1：台湾における高病原性鳥インフルエンザの発生状況（2015年 1 月以降）



注: 本図のH5N2亜型ウイルスは、過去に台湾で確認されたウイルスと異なり、2014年韓国のH5N8亜型ウイルス及び2011年中国吉林省のH5N2亜型ウイルスと最も近縁。
1月6日屏東県の採卵鶏農場で発生した従来型(1件)については、本図に記載していない。

出典: 台湾行政院農業委員会動植物防疫検疫局、OIE

2015年1月17日18時現在

参考 2：台湾当局情報

出典：台湾行政院農業委員会動植物検疫局公表資料（1月11日）

- ・ 1月7日及び8日に送付された水きん類のサンプルでHPAI（H5N2及びH5N8）が確認
- ・ 遺伝子解析の結果、H5N8 亜型ウイルスは、2014年韓国株と最も近縁
- ・ H5N2 亜型ウイルスは、過去に台湾で検出された株と異なる新型ウイルスであり、2014年韓国株のH5及び2011年中国吉林省株のN2と最も近縁
- ・ 両ウイルスは渡り鳥によって持ち込まれた可能性がある
- ・ 台湾当局は2日間に渡り水きん類のと畜を停止し、食肉処理場、ケージ、輸送車両等を消毒
- ・ 臨床的な監視を強化、防鳥ネットの補強等の防疫対策を実施